

道徳教育に係る評価の在り方に関する専門家会議(第4回)

2015. 8. 28

# 道徳の時間における発達障害 のある児童生徒の指導と配慮



吉成 千夏

# 課題に感じていること

- 価値に迫ることの難しさ
- コミュニケーションの課題が顕著になる時間
- 気持ちと表出するものとの間にギャップ

# 価値に迫ることの困難

- 読み取ること、聞き取ることの難しさに加え、大事なことに焦点化しにくい認知特性
- 多くの情報を結びつけて考えることの難しさ  
→ 葛藤場面で混乱
- 自分のことを振り返る、他者の視点で考えることの難しさ

取り上げたい価値にたどりつかない

# 手立て1 視覚支援

- 視覚支援（見える化）で場面や気持ちの変化をわかりやすくする
  - 挿絵の工夫（見せたいものだけに）
  - キーワードの表示
  - 映像教材の活用
  - ワークシートの工夫
- シンプルな提示で取り上げる価値を明確に
  - 資料から読み取るのではなく、先に提示

## 手立て2 自立活動と関連させた指導

### 自立活動（特別支援学校学習指導要領）

特別支援学級又は通級による指導において特別の教育課程を編成する場合に「自立活動」の内容を取り入れる

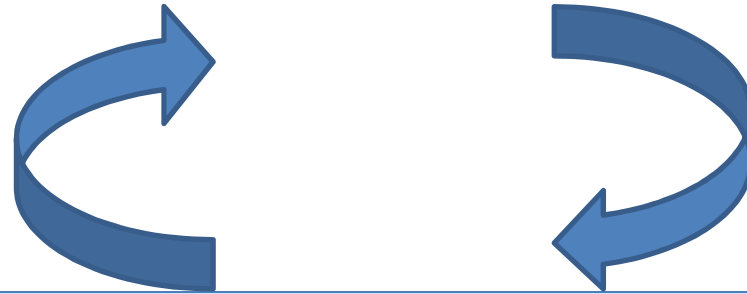
通常の学級に在籍している児童生徒の指導に当たっては、自立活動の内容を参考にして適切な指導や必要な支援を行う。

#### 六区分26項目

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3 人間関係の形成
- 4 環境の把握
- 5 身体の動き
- 6 コミュニケーション

# 例えば「人間関係の形成」

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事
- (4) 集団への参加の基礎に関する事



- B 主として人とのかかわりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事

# 一単位時間の構成の工夫

1	ウォーミングアップ ・仲良く学習する雰囲気づくり
2	オリエンテーション ・取り上げる価値について
3	映像資料の視聴、読み聞かせ等 ・映像を止めずに、板書で内容の整理 ・児童のつぶやきを記録

# 一単位時間の構成

4	つなぎの話 ・取り上げた価値とそのために必要なスキルの説明
5	社会性スキルを身に付ける学習活動 ・ゲーム ・音楽リズム ・運動動作 ・制作 ・行事の練習など
6	振り返りタイム ・社会性スキルの振り返り ・取り上げた価値の振り返り



# コミュニケーションの課題

- 話合い＝双方向のコミュニケーションが苦手
- 自分の気持ちを表現することの難しさ
- 自分や家族のことを話すことへの抵抗感

言語活動を重視した指導



参加できるための配慮と合わせて

# 手立て3 話し合い活動

<ある小学校で>

何を話していいかわからない。

意見の選択肢  
話し方の  
フォーマット

「私はAだと思います。  
理由は～です。」

# 手立て3 話し合い活動

<ある小学校で>

言いたいことはあるんだけど、。

表情マークの活用



「ニコマークで  
ごめんなさい。」

## 手立て3 話し合い活動

<ある小学校で>

いつ話したらいいのかな・・・。

話す順番を決める

「進行役は、A君」  
「話す順番は、、、。」  
「B君の次に話せばいいんだな。」

## 手立て4 話せる雰囲気づくり

ピントのずれた発言を笑ったりしないで受け止める、時には笑いにしてしまっても学級の雰囲気づくりに活用するなど、学級づくりに全校体制で取り組んでいます。“言語活動の充実”と“問いを発する子供”を合言葉に、全教科で全校体制で、『ペア→グループ→全体』の話合い活動を位置付けており、どの子も発言しやすく、どの子の意見も受け入れられるように配慮しています。

秋田県の中学校

# 評価の課題

- 自分の気持ちを言葉や文で表現することが難しい。
- 外面（見える姿）と内面とのギャップが大きい。
- 自分が正しく評価されているかどうかにかかわらず児童・生徒の存在

同じ枠組みで一律に評価することが難しい

## 手立て5 評価の観点や機会を幅広く

- 発する言葉だけに注目しない。
- 行動を言語化し、価値づける。
- 結果に表れなくても過程を評価する。
- 客観的な事実で評価する。

納得！

自信！

意欲付け

# 自閉症の子供の思いを大切に

- すべての自閉症の人に、まったく「社会性・想像力・コミュニケーションの能力が欠如している」ということではない。
- 認知の構造や感覚機能が違うため、この3つに対して特に「ハンディキャップが生まれやすいリスク」をもっていると考えられる。

(尾崎 ミオ氏)



# 自閉症の子供の思いを大切に

「彼らの認知構造は変わらないという前提で、  
多数派の認知の仕方を知識として学んでもら  
う」 (尾崎 ミオ 氏)

「それを学んでほしいのは彼らが間違っているから  
ではありません。そのほうがお互いにとって不都  
合が少ないからです」 (2003、吉田氏)

全ての子供たちのよさが  
集団の中で価値づけられる時間に